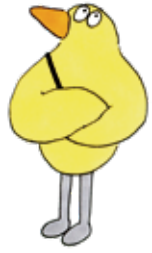


大人も勉強している!?



これからの時代に必要な大人の学びとは?



みなさんは、「学ぶこと」が好きですか?

リビングでテレビを見ている家族を横目に「大人は宿題も、受験勉強も無いからいいよな～」と思っていないですか。でも、大人になっても学びが必要なんです。どうしてだと思いますか？「生涯学び続けること＝生涯学習論」が専門の新潟大学の渡邊先生と一緒に、「大人の学び」「子どもの学び」を深掘りし、みなさんがこれから豊かな人生を歩むヒントを見つけましょう。また、その後に続く働く大人の紹介ページでは、企業が取り組む研修や大人の学びのリアルについて紹介します。



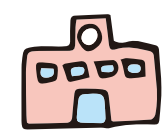
新潟大学創生学部 渡邊 洋子 教授
成人教育学や生涯学習論が専門。人々が様々な環境や経験、きっかけから生きることに向き合い、社会と対峙してきたプロセスに関心を抱き、人の「育ち」「学び」とその支援のあり方を探究し考えていく教育学の研究に取り組んでいる。

世の中の変化に好奇心を持ち、自分も変化していくための学びを

ある時代までは、子どもはみんな「大人」になることがゴールで、大人になったらそれ以上学ばなくても、それまでに得た知識や経験で、仕事や生活を営むことができていました。しかし現在は、「知識基盤社会」と言われ、一定の知識や技術を持たないと、AIやロボットに仕事を奪われてしまうかもしれません。例えば、スマホや携帯の使い方が分からないと仕事で困る人は、スマホ教室に通っていますよね。社会が急激に変化しているため、変化についていくための知識を常に取り入れる必要があります。誰もが「変化に応じて、学ばないとやっていけなくなる時代」だからこそ、自分で好奇心を持って学んでいく姿勢が大切です。

大人になると自ら「学ぶ姿勢」や「環境」を整えることが大切

大人は子どもよりも、たくさん経験を積んできています。そのため、新しいことも自分のこれまでの経験を使って、理解することができます。しかしその分、経験が学びの邪魔をすることも。自分の経験してきたことと違うことを、受け入れづらく感じることもあります。そこで大切なのは、自分の学びの阻害要因(邪魔をしているもの)を明らかにして、それを取り除くよう工夫すること。大人は仕事や子育てなど、学ぶこと以外にやる事がたくさんあります。自分自身で、自律的に学びの姿勢や環境を整えることが求められます。また大人は、強制される学びではないからこそ、「学びたい」という問題意識の強さや目標を持つことがより学習の支えとなったり、人から評価されるためではなく、学ぶこと自体に楽しみを見出すことができます。



学校における「学び」

教える(教師)
教えられる(生徒)

受け身



大人の「学び」

学ぶ・教える
他者が学習環境を整えるサポート

自律的な学習

中高生のうちから
自律的な学習ができれば
カッコイイな。



「問い」を持つと、学びを自分で作り出せる

Why? How?

みなさんは、これまでの大人達が経験したことがないような人口減少社会を生きていくことになります。誰も経験したことがない時代ですから、問題が起きた時にどこにも手がかりがなく、正解がないことがほとんど。だからこそ、既にある知識を取り入れるだけの学び方から、知識を自分で作り出す学び方をしてもらいたいです。そのためには、いつも「問い」を持つこと。問いは、YES・NOで答えられるものではなく、WHY(なぜ)・HOW(どうやって)をくり返すことができるものです。問いを持っている

と、友達と話をしている、テレビを見ている、日常のあらゆる経験が自分の学びに変換されていきますよ。問いを持つためには、自分の中の「違和感」を大切にしてください。何か新しい情報に触れた時、「なんで? どうして?」と感じるザワつき。それが、自分なりの問いを見つけるサインです。モヤモヤすることに向き合ってくださいね。そして、それを楽しんでください。変化していくことや、混沌とすることに前向きでいることこそが、これからの時代を豊かに生きる、学び続ける秘訣だと思います。

大人の学びへ突撃レポート

大人の学びの現場取材してきました!
新潟で働く社会人がメンバーとなって活動するNiigata Liberal Arts Club(新潟リベラルアーツクラブ)は、「教養を身につけ、深く広い思考で仕事やプライベートをもっと充実させよう」というコンセプトのもと、2~3ヶ月に1度、大学の先生を講師に招き、社会人が気軽に学べる教養講座を開催しています。

THEME
今回のテーマは「音と音楽をめぐる科学」。認知脳科学者の伊藤浩介先生から、人が音を認知する方法や、音楽と言語の違いについてお話を聞きました。

この講座に参加して、幅広い世代の人が学びたがっているんだと感じた。

大学生の頃の「教養」の授業はつまらなかったけど、大人になって経験を重ねたからか、今学ぶと面白い!



物事を色々な角度から捉えるために、様々な分野について学ぶことが大切だと思う。色々な業種の人と出会えるので、刺激を受けている。

代表の渡辺秀太さん(左)と高澤陽二郎さん(右)、メンバーの小林愛実さん。

大人も子どもも楽しく学べる場所がたくさんあると、豊かだと思います。この講座がその1つになれるように、これからも活動を続けていきたいです。

他の講座テーマは、文化人類学、地理学、近世日本史など。リベラルアーツ、面白そうだぜ~!

